

News Release



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

令和元年8月19日

各報道機関文教担当記者 殿

JICA 草の根技術協力事業 「ベトナム国・枯葉剤／ダイオキシン濃厚汚染地区における 低体重児の発育改善プロジェクト」始動！

金沢大学は、国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業（草の根パートナー型）として平成30年3月に採択された「ベトナム国・枯葉剤／ダイオキシン濃厚汚染地区における低体重児の発育改善プロジェクト」を開始しました。

本プロジェクトは、ベトナム戦争時に枯葉剤によって汚染された濃厚汚染地区の一つであるビンディン省フーカット県において、戦後40年以上経過した現在においても枯葉剤に含まれていたダイオキシン類の影響下にある低体重児の発育改善を現地の医療関係者等の人材育成を通して支援するものであり、城戸照彦客員教授（本プロジェクト申請当時：医薬保健研究域保健学系・教授）の研究グループが3年間の予定で実施します（詳細は別添事業概要を参照）。

つきましては、**下記のとおり本プロジェクトの開始式を執り行います**ので、金沢大学とJICAが連携して取り組む本国際協力事業について、当日の取材・報道をよろしくお願ひいたします。

記

【ベトナム国・枯葉剤／ダイオキシン濃厚汚染地区における低体重児の発育改善プロジェクト開始式】

日時：令和元年8月21日（水）13：30～（1時間程度）

場所：金沢大学本部棟6階 大会議室

出席者：【金沢大学】

山崎 光悦 学長

城戸 照彦 客員教授

【国際協力機構北陸センター（JICA 北陸）】

菊地 和彦 所長

【本件に関する問い合わせ先】

◆国際協力機構北陸センター（JICA北陸）

業務課専任参事 池 哲広

TEL：076-233-5931

E-mail：Ike.Tetsuhiro@jica.go.jp

◆金沢大学

（本件照会先）医薬保健系事務部保健学支援課経理係
長谷川

TEL 076-265-2513

（広報担当）総務部広報室 嘉信

TEL 076-264-5024

事業要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム
2. 事業名	枯葉剤/ダイオキシン濃厚汚染地区における低体重児の発育改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ベトナム戦争中に撒布された枯葉剤の影響が 40 年以上経過し今日でも認められることを我々は明らかにしてきた。具体的には、濃厚汚染地区の母親 58 名の母乳には対照地区に比べて平均 3-5 倍のダイオキシン濃度があること、また、母親や幼児のステロイドホルモンにも影響を与え、低体重出生児が 12% (対照地区 4%) と高率であることである。この事実を県地域医療スタッフと共有するとともに地域の低体重児の発育を改善することが必要である。
4. プロジェクト目標	フーカット県において、ダイオキシンの影響を踏まえた母子保健活動が自立的かつ継続的に実施される。
5. 対象地域及び管轄する領事館	ビンディン省フーカット県、在ベトナム日本国大使館 (ハノイ)
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象地域の乳児 (3,000 人程度) およびその母親
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>アウトプット</p> <ol style="list-style-type: none"> フーカット県人民委員会保健局、フーカット県立医療センター、ハノイ医科大学 10-80 委員会、ベトナム国家大学 (ハノイ)、ベトナム北部環境モニタリングセンター (NCEM) の間で、プロジェクトの実施・調整のための連携体制が整う。 フーカット県立医療センターとベトナム国家大学 (ハノイ)、NCEM が連携して実施する健診及び検査を通して、ダイオキシン濃度の高い母乳を飲んでいる低体重児が特定される。 枯葉剤の健康被害の実情を理解し、対策方法を指導できる地域医療スタッフ (医師、看護師、保健スタッフ等) が育成される。 健診の結果を踏まえ、介入が必要な母子に早期離乳指導や栄養指導が行われる。 <p>活動</p> <ol style="list-style-type: none"> フーカット県人民委員会保健局、フーカット県立医療センター、ハノイ医科大学 10-80 委員会、ベトナム国家大学 (ハノイ)、NCEM との間で合同調整委員会を定期的に行う。 唾液・母乳中のホルモンやダイオキシンの精密分析を行うための教材を作成する。ベトナム国家大学 (ハノイ)、NCEM 等のスタッフを対象に、ホルモンやダイオキシンの精密分析の技術研修を本邦及び現地で実施する。フーカット県において、県立医療センターが低体重児の状況把握を目的として乳児とその母親を対象とした健診を行う。(乳児の身長、体重、頭囲、胸囲及び母親への問診) 県立医療センターとベトナム国家大学 (ハノイ)、NCEM が連携し、乳児の唾液中ホルモンや母乳中のダイオキシンを検査する。 フーカット県の地域医療スタッフ (医師、看護師、保健スタッフ等) がダイオキシンの健康被害や対策を習得するための教材を作成する。ホルモン及びダイオキシン検査の結果を踏まえ、県地域医療スタッフ (医師、看護師、保健スタッフ等) を対象にダイオキシンの健康影響と早期の離乳促進や栄養指導による母子の健康促進につながる研修を行う。 研修を受けた県地域医療スタッフが、対象母子に対し、早期離乳指導や栄養指導の講習会を実施する。県地域医療スタッフが対象母子に対し個別に早期離乳指導や栄養指導を実施する。
8. 実施期間	(西暦) 2019 年 8 月 ~ 2022 年 7 月 (3 年 0 カ月)
9. 事業費概算額	82,077 千円
10. 事業の実施体制	金沢大学のプロジェクトマネージャー城戸照彦を中心にベトナム、フーカット県立医療センターをカウンターパート機関として、ベトナム・日本の協力機関と連携しながら実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 金沢大学
2. 活動内容	1862 年に創基、1949 年に設置された国立総合大学。研究、教育 (人材育成)、社会貢献を主要活動とする。